

# 海風日記

さまざまな記憶を包含した貴重な收藏品が日本郵船歴史博物館にあります。海風が日記をめくるように積み重ねた歴史を紹介します

## “ 山城丸模型 ”



『山城丸』(Ⅲ世) 模型 【模型要目】サイズ：長さ175cm×幅47cm×高さ146cm、縮尺：1/100

### 山

山城丸(Ⅲ世)は1963(昭和38)年竣工のYクラス<sup>※</sup>貨物船で、商船として初めて球状船首(バルバスバウ)を採用した船としても知られています。この技術により、従来船よりも小さなエンジンで同等以上の速度を出すことができ、船価の低減や燃料費節約につながりました。他にも居住区の大規模改善や船内業務の効率化が図られるなど、革新的な船だったといえるでしょう。

欧州航路、東地中海航路で活躍しましたが、1973(昭和48)年10月、シリアのラタキア港外で第四次中東戦争の戦禍に巻き込まれ炎上。迅速な行動により一人の犠牲者も出さずことなく避難しましたが、本船は修繕不可能となり、翌年売却されました。

本模型は、戦前より多くの模型を製作した「初山艦船模型製作所」(戦後は初山船模製作所)に名称変更によるもので、艦装品の精巧さや船体の美しさは、職人の高い技術を感じさせます。模型ファンからも人気が高い1隻です。

以前はNYK九州支店に置かれていましたが、2005(平成17)年3月20日に発生した「福岡県西方沖地震」により模型本体とケースが損傷。その後、日本郵船歴史博物館に移されて

修復を行い、現在は戦後史を語る上で欠かせない資料として、常設展示室に展示されています。

※ Yクラス…Yを頭文字とする船名で、欧州航路用の当時の超高速貨物船シリーズ



『山城丸』(Ⅲ世)  
全長：161m  
総トン数：10,032.23トン  
速力：22.5ノット  
建造：三菱造船(株)長崎造船所  
竣工：1963年11月9日

### 問い合わせ

### 日本郵船歴史博物館

- 所在地：神奈川県横浜市中区海岸通3-9
- 電話：045-211-1923
- 開館時間：午前10時～午後5時  
(最終入館：午後4時30分)
- 休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
- 臨時休館日：ウェブサイトでご確認ください

- 入館料：一般400円、シニア(65歳以上)・中高生250円、小学生以下無料  
(NYKグループ社員と同伴者1人まで、社員証の掲示で入館無料)
- ウェブサイト：<https://museum.nyk.com>